



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月11日

上場会社名 光村印刷株式会社

上場取引所 東

コード番号 7916 URL <https://www.mitsumura.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 嶋山 芳夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 藤川 和典

TEL 03-3492-1182

四半期報告書提出予定日 2021年11月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	7,495	1.2	27		104		357	
2021年3月期第2四半期	7,585	14.3	498		296		2,505	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 497百万円 ( %) 2021年3月期第2四半期 1,664百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	116.64	
2021年3月期第2四半期	817.92	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	27,943	17,129	60.7	5,533.54
2021年3月期	29,873	17,783	58.9	5,746.74

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 16,951百万円 2021年3月期 17,604百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		50.00	50.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	0.9	270		350		130	83.7	42.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	3,103,420 株	2021年3月期	3,103,420 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	40,071 株	2021年3月期	40,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	3,063,391 株	2021年3月期2Q	3,063,428 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的だと判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想等のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により緊急事態宣言が延長され、個人消費や企業活動が著しく停滞するなど、厳しい状況で推移しました。先行きにつきましては、国内においてもワクチン接種率が向上し、緊急事態宣言も解除されるなど明るい兆しが見られますが、原油や諸資材価格の高騰などによる景気の下振れリスクの高まりなど、依然として不透明な状況にあります。

印刷業界におきましては、電子書籍市場やインターネット広告市場の拡大による紙媒体の需要減少や競争の激化による受注単価の下落が続いており、依然として厳しい状況が続きました。

当社におきましては、前期末に設置しましたセールスプロモーション部を中心にマーケティング戦略を推し進め、能動的な企画立案や顧客課題解決提案に取り組み、インパクトのある表現が可能なパノラマ印刷の拡販にも努めています。生産部門においては、敷地を売却した草加工場の機能の、連結子会社の新村印刷株式会社が保有する狭山工場の敷地内に建設する新工場への移転に向けた準備を進めており、2022年9月までに竣工予定としています。

また、収益構造の再構築をめざし、希望退職の募集を実施しました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は74億95百万円（前年同期は75億85百万円）となりましたが、印刷事業の収益改善により、損益面では営業損失27百万円（前年同期は4億98百万円の損失）、経常利益1億4百万円（前年同期は2億96百万円の損失）となり、上記希望退職募集に伴い発生した退職加算金等3億54百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失3億57百万円（前年同期は25億5百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと次のとおりです。

## ① 印刷事業

新聞関係の減少はあったものの物流伝票の増加等があり、売上高は68億86百万円（前年同期は68億61百万円）となり、セグメント損失（営業損失）は10百万円（前年同期は4億83百万円の損失）となりました。

## ② 電子部品製造事業

世界的な半導体不足の影響を受け、売上高は4億14百万円（前年同期は5億34百万円）、セグメント損失（営業損失）は2億11百万円（前年同期は1億98百万円の損失）となりました。

## ③ 不動産賃貸等事業

売上高は2億60百万円（前年同期は2億60百万円）、セグメント利益（営業利益）は1億94百万円（前年同期は1億83百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ19億29百万円減少の279億43百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億75万円減少の108億14百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億53百万円減少の171億29百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期業績予想につきましては、最近の業績の動向や経営環境を踏まえて見直しを行った結果、2021年5月12日に公表しました業績予想を修正しています。詳細は本日(2021年11月11日)別途開示しました「2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,675,690	2,988,591
受取手形及び売掛金	2,518,409	2,412,006
製品	280,501	284,700
仕掛品	326,266	590,396
原材料及び貯蔵品	121,952	112,370
有価証券	-	4,000,000
その他	125,251	219,986
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	12,046,071	10,606,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,050,354	4,908,590
機械装置及び運搬具(純額)	1,990,122	1,843,048
土地	3,706,650	3,706,650
リース資産(純額)	592,851	525,911
その他(純額)	59,089	113,222
有形固定資産合計	11,399,068	11,097,422
無形固定資産		
その他	87,368	78,996
無形固定資産合計	87,368	78,996
投資その他の資産		
投資有価証券	5,539,077	5,343,742
退職給付に係る資産	630,105	646,092
その他	228,774	228,903
貸倒引当金	△57,303	△57,275
投資その他の資産合計	6,340,653	6,161,462
固定資産合計	17,827,090	17,337,881
資産合計	29,873,162	27,943,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,640,117	1,802,151
短期借入金	2,610,000	2,610,000
1年内返済予定の長期借入金	357,000	200,000
リース債務	250,643	241,843
未払法人税等	1,120,087	52,586
賞与引当金	144,242	130,765
その他	1,036,930	1,201,038
流動負債合計	7,159,020	6,238,385
固定負債		
長期借入金	350,000	250,000
リース債務	729,451	612,058
役員退職慰労引当金	26,589	24,122
退職給付に係る負債	1,669,290	1,547,524
その他	2,155,574	2,142,100
固定負債合計	4,930,906	4,575,806
負債合計	12,089,926	10,814,192
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,607,886	5,607,886
資本剰余金	4,449,556	4,449,556
利益剰余金	5,805,811	5,295,326
自己株式	△86,605	△86,687
株主資本合計	15,776,648	15,266,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,850,463	1,707,544
退職給付に係る調整累計額	△22,548	△22,470
その他の包括利益累計額合計	1,827,915	1,685,074
非支配株主持分	178,672	178,584
純資産合計	17,783,235	17,129,740
負債純資産合計	29,873,162	27,943,933

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	7,585,354	7,495,817
売上原価	6,585,955	6,096,563
売上総利益	999,399	1,399,254
販売費及び一般管理費	1,497,489	1,426,719
営業損失(△)	△498,090	△27,464
営業外収益		
受取利息	50	207
受取配当金	59,542	68,850
受取家賃	4,581	4,849
助成金等収入	167,765	68,686
その他	17,367	24,769
営業外収益合計	249,307	167,363
営業外費用		
支払利息	32,114	27,444
その他	15,368	7,965
営業外費用合計	47,483	35,410
経常利益又は経常損失(△)	△296,266	104,488
特別損失		
固定資産除却損	1,404	360
固定資産売却損	-	12,644
減損損失	1,924,910	-
希望退職関連費用	-	354,930
特別損失合計	1,926,314	367,935
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,222,581	△263,447
法人税、住民税及び事業税	22,330	41,202
法人税等調整額	256,635	49,952
法人税等合計	278,965	91,154
四半期純損失(△)	△2,501,547	△354,601
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,103	2,712
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,505,650	△357,314

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,501,547	△354,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	828,416	△142,919
退職給付に係る調整額	8,971	78
その他の包括利益合計	837,388	△142,840
四半期包括利益	△1,664,158	△497,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,668,261	△500,155
非支配株主に係る四半期包括利益	4,103	2,712

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

これにより、主として有償受給取引における顧客から購入した原材料等の支払いのうち、顧客に支払われる対価に該当するものと判断した取引については、当該金額を取引価格から減額した金額で収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第 84 項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第 1 四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第 1 四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、「収益認識会計基準」等の適用前の従来基準と比較すると、売上高は 79,655 千円減少し、売上原価は 61,779 千円減少し、営業利益は 17,875 千円減少し、営業外費用は 17,875 千円減少しています。なお、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

なお、収益認識会計基準第 89-2 項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っていません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第 19 項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第 10 号 2019 年 7 月 4 日)第 44-2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響は軽微です。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	印刷	電子部品 製造	不動産 賃貸等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,861,127	534,938	189,288	7,585,354	—	7,585,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	71,015	71,015	△71,015	—
計	6,861,127	534,938	260,304	7,656,370	△71,015	7,585,354
セグメント利益又は損失(△)	△483,126	△198,545	183,581	△498,090	—	△498,090

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	印刷	電子部品 製造	不動産 賃貸等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,886,918	414,048	194,851	7,495,817	—	7,495,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	65,331	65,331	△65,331	—
計	6,886,918	414,048	260,182	7,561,148	△65,331	7,495,817
セグメント利益又は損失(△)	△10,171	△211,773	194,480	△27,464	—	△27,464

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は2021年11月11日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議しました。

(1) 投資有価証券の売却理由

保有資産の効率化と財務体質の強化を図るため。

(2) 投資有価売却の内容

① 売却株式	当社保有の上場有価証券 1 銘柄
② 売却時期 (予定)	2021 年 11 月末まで
③ 投資有価証券売却益	約 3 億円 (見込み)